

令和7年度 学校評価 生徒アンケート 集計結果

【評価】 4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均			R7構成比率				
			前年比	R7	R6	R5	4	3	2	1
1 教育活動について	1	学校は、教育方針や育てたい生徒像をはっきり示してくれる。	↑	3.4	3.1	3.2	44.9%	49.7%	4.8%	0.7%
	2	学校は、生徒の進路実現に向けて、効果的な指導を行っている。	↑	3.6	3.4	3.4	59.2%	38.1%	2.0%	0.7%
	3	学校は、進路に関して情報を提供している。	↑	3.6	3.5	3.5	64.6%	32.0%	2.0%	1.4%
	4	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	↑	3.3	3.2	3.2	42.9%	44.9%	9.5%	2.7%
	5	担任の先生は、保護者との連絡を密にしている。	↑	3.1	3.0	3.1	33.3%	45.6%	15.0%	6.1%
	6	生徒の悩みや相談について、親身になって応じてくれる先生が多い。	↑	3.4	3.2	3.2	48.3%	43.5%	7.5%	0.7%
2 学習活動について	7	1日の平均家庭学習時間 (4:2時間以上、3:2時間未満、2:1時間未満、1:0分)	↑	1.8	1.7	1.9	2.0%	6.1%	60.5%	31.3%
	8	先生は、テスト以外の面も評価してくれている。	↑	3.6	3.5	3.4	59.9%	36.1%	4.1%	0.0%
	9	私は、地域の課題について自ら考え、その解決に向けて行動した。	↑	2.9	2.7		23.1%	49.7%	23.1%	4.1%
	10	私は、ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まっている。		3.1			27.9%	53.7%	16.3%	2.0%
	11	私は、「行動に移す力」「共に働く力」「深く考える力」が高まっている。		3.2			34.0%	56.5%	9.5%	0.0%
	12	授業でわからないことについては、先生に質問しやすい。	↑	3.2	3.0	2.9	27.9%	63.3%	8.2%	0.7%
	13	始業時には、きちんと席に着き、教科書等の準備をしている。	↑	3.6	3.5	3.5	62.6%	32.7%	3.4%	1.4%
	14	課題・提出物は、期限までに提出している。	↑	3.4	3.1	3.2	48.3%	43.5%	6.8%	1.4%
3 教育環境について	15	学校は、校舎内外の環境整備に努めている。	↑	3.3	3.1	3.2	40.1%	53.7%	5.4%	0.7%
	16	学校の施設・設備は、安全面で問題はない。	-	3.2	3.2	3.3	38.8%	47.6%	12.2%	1.4%
	17	学校は、清掃が行き届き、いつもきれいである。	-	3.0	3.0	3.1	27.2%	52.4%	17.7%	2.7%
	18	ゴミを散らかさないようにしている。	↑	3.7	3.5	3.5	70.1%	27.9%	2.0%	0.0%
4 生徒活動について	19	生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加している。	↑	3.0	2.8	2.9	27.2%	52.4%	15.6%	4.8%
	20	社会のルール、学校のルールをよく守っている。	↑	3.6	3.3	3.5	58.5%	40.8%	0.7%	0.0%
	21	自分からすすんであいさつをしている。	↑	3.5	3.4	3.5	55.8%	37.4%	5.4%	1.4%
	22	部活動に積極的に取り組んでいる。	↑	3.4	3.2	3.4	61.2%	26.5%	6.8%	5.4%
5 その他	23	壱岐商業高校に入学して良かったと思う。	↑	3.5	3.3	3.3	55.8%	39.5%	3.4%	1.4%
	24	朝の10分間読書に熱心に取り組んでいる。	↓	3.4	3.5	3.5	46.3%	46.3%	6.1%	1.4%
	25	性的マイノリティ（LGBTQ+）など、人権について理解が深まった。		3.6			69.4%	26.5%	2.0%	2.0%
	26	壱岐商業高校の合言葉は何でしょうか。（ウェルビーイング）		87.1%						

令和7年度 学校評価 保護者アンケート 集計結果

【評価】 4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均			R7構成比率				
			前年比	R7	R6	R5	4	3	2	1
1 教育活動について	1	学校教育目標は分かりやすい目標になっている。	↑	3.3	3.1	3.1	39.5%	56.6%	3.3%	0.7%
	2	学校の生徒指導に対する姿勢に共感できる。	↑	3.2	3.1	3.1	33.6%	57.9%	7.2%	1.3%
	3	学校は保護者に学校の様子を知らせてくれる。	-	3.1	3.1	2.9	33.6%	47.4%	18.4%	0.7%
	4	学校は、子どもが部活動に意欲を持って参加できる環境が整っている。	↑	3.3	3.2	3.2	44.1%	45.4%	9.9%	0.7%
2 学習活動について	5	子どもは、学校行事を楽しみにしている。	↑	3.5	3.4	3.4	52.0%	43.4%	3.9%	0.7%
	6	学校は、将来の進路や職業について、適切な指導を行っている。	↑	3.4	3.3	3.3	48.0%	48.7%	3.3%	0.0%
	7	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	-	3.0	3.0	2.9	15.1%	68.4%	15.1%	1.3%
	8	子どもは、家庭学習を行っている。	↓	2.4	2.6	2.6	10.5%	27.6%	54.6%	7.2%
	9	先生は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価している。	↑	3.3	3.2	3.2	34.2%	58.6%	7.2%	0.0%
	10	学習の内容や進度等を、懇談や学校からの通信によって知ることができる。	↑	3.1	2.9	3.0	22.4%	61.8%	14.5%	1.3%
3 教育環境について	11	学校は、事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。	↑	3.3	3.2	3.2	34.2%	61.2%	3.9%	0.7%
	12	学校は、清掃が行き届き、いつもきれいである。	↑	3.4	3.3	3.3	48.0%	48.7%	2.6%	0.7%
4 開かれた学校づくりについて	13	学校は、保護者や地域の人たちと話す機会を多く設けている。	↑	3.1	3.0	2.9	25.7%	57.9%	13.8%	2.6%
	14	学校は、子どもの様子を保護者や地域に情報提供してくれる。	↑	3.1	3.0	3.0	27.6%	59.9%	10.5%	2.0%
	15	学校は、地域の行事をよく理解し、協力的である。	↑	3.3	3.2	3.2	41.4%	52.6%	5.3%	0.7%
5 その他	16	子どもは、社会のルール、学校のルールをよく守っている。	↑	3.3	3.2	3.3	39.5%	55.3%	4.6%	0.7%
	17	子どもは、積極的に部活動に参加している。	↑	3.6	3.4	3.5	66.4%	27.0%	2.0%	4.6%
	18	家庭では、SNSなどのネットトラブルや情報モラルについての話をしている。	-	3.1	3.1		25.7%	55.9%	17.8%	0.7%
	19	子どもの教育について、担任へ気軽に相談できる。	↑	3.3	3.2	3.1	37.5%	52.0%	9.9%	0.7%
	20	子どもは、周囲や相手のことを思いやって生活している。	↑	3.4	3.3	3.3	42.1%	51.3%	6.6%	0.0%
	21	子どもを壱岐商業高校へ入学させて良かったと思う。		3.6			65.1%	32.9%	2.0%	0.0%

令和7年度 学校評価表（職員評価）

校 訓	1 知性 【高い理想を掲げるとともに、学んだ知識・技能を活用して自ら課題を発見・探求し、成果等を表現できる能力を育もう】 2 信義 【礼儀を正し、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決しようとする態度を身につけよう】 3 勇気 【体位を向上させ、様々な変化に積極的に向き合い、新しいことに挑戦する勇気を養おう】	総合評価（昨年度3.3） 3.3
スクールミッション	1 どのような生徒を育成するのか [社会的役割] 校訓「知性 信義 勇気」のもと、高度化・多様化するビジネス社会において、専門的・実践的な知識・技能を生かし、常に新しいことに挑戦する姿勢を持ちながら、地域を支えその活力となる人材を育成します。また、主体性を持って多様な人々と共働り、課題を解決しようとする態度を身に付けた人材を育成します。 2 どのような教育を目指すのか [教育理念] 生徒の興味・関心やキャリアプランに応じたカリキュラムにより、個々の学びや専門性を深めて、時代に即した、社会で必要とされる資質・能力を身に付ける教育を目指します。また、一人一台端末等ICTを効果的に活用することにより、情報活用能力を育成する教育を目指します。 3 学科の特色、強み、魅力（独自の教育）等 [今後の方向性] 地域の企業や関係機関とさらに連携を深め、新商品の開発や販売実習を行い、職業観や勤労観を養うとともに、地域の活性化にもつながる実践的な学びを展開します。また、関係機関との連携・協働を通して、地域の課題解決に向けた探究活動に取り組みます。	
スクールポリシー (育てたい生徒像)	1 高い自己肯定感を持ち、他者を思いやることのできる生徒を育てる。 2 自ら考え、行動・判断できる生徒を育てる。 3 将来、会社を経営したい生徒や会社内で経営について建設的な意見を述べることのできる生徒を育てる。	
キャッチフレーズ		本年度の合言葉
「本気で学んで 本気で鍛えて 夢実現！」 ～目指せ！日本一の専門高校～		「Well-Being ～それぞれが主役～」
本年度の重点目標		生徒の行動目標
1 学習指導 (1) 基礎学力の向上 ・家庭学習の習慣化 ・DXの活用 (2) ティーチング重視からコーチング重視への教育 2 生徒指導 (1) 学校生活全般において生徒の主体性を育む教育の推進 (2) 特別な支援や配慮を要する生徒へのチーム対応 3 学校運営 (1) 内規・行事の見直し（教務・校則・部活動・オフカジ） (2) 安心安全な教育環境の整備		(1) 自分を大切にし、他人を思いやろう。 (2) 自分の意見を言語化し論理的に相手に伝えよう。 (3) 家庭学習時間を作ろう。

評価は右記の4～1の番号で評価する。 4：十分達成できている 3：おおむね達成できている 2：どちらかという達成できていない 1：ほとんど達成できていない

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
教 務 部	1 授業時数の確保と円滑な行事運営を行う。 2 授業力向上、家庭学習の習慣化のための実践を推進する。 3 DX化を推進し、職員生徒の実践を支える。 4 保護者、地域等との連携を図り、PTA活動の活性化を推進する。 5 時代に即した広報活動を取り入れ、積極的に情報発信をする。 6 誰もが読書を楽しめる図書館運営を実践する。	職員会議資料は、会議の2日前までに整理し、まとめて起案及び冊子化することを目指す。また、会議前日までに職員へ配布することを目指す。	3.5	3.1	3.1	・部内での業務遂行など円滑に進んでいた。 ・様々な面で来年度につながるがあると思うので、引継ぎをデータで残したい。 ・すべてが完ぺきではないものの、全体としては教務部で連携し滞りなく業務を遂行できた。 ・朝の読書及び図書館運営に関しては、いくつか課題がある。図書館に常駐の職員が置けない中、どのように活性化する方法があるかアイデアを出し合う場が必要だと思われる。 ・PTA総会において約100名の出席があり、ここ数年では最も高い参加率だった。 ・オープンスクールの在り方や学校案内など広報において大きく変化できた。
		PTA行事（総会、地区PTA、研修会）の出席率が過半数を超えるように促す。	2.8	2.6		
		教務部内で業務連絡・分担確認を定期的に行い、連携して行事の円滑な運営を図る。	3.7	3.6		
		各行事の実施後10日以内には反省を行い検証し、次年度につなげる。	3.7	3.7		
		生徒指導部教育相談班との連携を図り、ユニバーサルデザインの充実を図る。	2.8	3.1		
		課題・提出物は、期限までに提出している。	3.0	3.1		
		一日あたりの来館者10人以上を目指す。	2.4	2.0		
		図書委員にカウンター作業を徹底させる。	3.2	3.2		
		貸出本の未返却者を0にする。	2.6	2.7		
		「図書だより」を年3回発行する。	3.6	4.0		
生徒支援部 生徒指導班	1 自己指導能力を身に付けさせ、自律と自他ともに尊重する態度の育成を目指す。 2 保護者との連携を密に行い、問題行動を未然に防止する。 3 分掌（教育相談班と保健環境班）や地域関係諸機関と連携し、生徒の健全な成長を目指す。 4 生徒指導提要に基づいた校則の見直しを検討する。 【今年度の重点的取り組み】 1 問題行動の未然防止を目的とした期間目標を活用した生徒指導を実践する。 2 年間を通して、スケジュール帳を活用し、自己指導能力の向上を図る。 3 分掌内の役割を明確化し、教職員間での連携の強化を図り、新たに校則を制定する。 4 問題行動の未然防止を目指し、保護者や地域関係諸機関との連携を図る。（PTA、学警連、学校・警察相互連絡制度）	容儀指導を月1回実施し、事後指導を徹底する。	3.6	4.0	3.8	【成果】 生徒指導班の方針を『校則』→『心得』に変換する一步目を踏むことができた。また、昨年度から取り組んでいる生徒指導を学年主体で行う流れも浸透してきた。とくに今年度は、入学してよかったと回答した生徒が、95.3%もいた。同時に保護者や外部からの苦情も極端に減っている。学年主体でやるメリットは数字で示せたように思う。 【課題】 『心得』に変更するメリットを理解してもらうために、継続的な職員研修が必要である。また、生徒会指導部が『心得』を活用してくれたが、他の分掌も活用できるように浸透させたい。 【次年度に取り組みたいこと】 新しい取り組みではなく、今年度取り組んだことをもっと深く学校へ浸透させたい。その熱量と同時に振り返りも忘れずに、常により良い方法を考えていきたい。その中でも、「いじめ」「暴力」は許さない姿勢はしっかり示していきたい。
		学年・分掌との連携を深め、問題行動の予防に努める。	3.6	3.7		
		交通ルールやマナー指導、自転車点検などを行い、交通事故「ゼロ」を目指す。	4.0	3.7		
		「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。	3.6	3.3		
		「生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い」の項目で85%以上を目指す。	3.7	4.0		
		「社会のルール、学校のルールをよく守っている」の項目で95%以上を目指す。	3.4	4.0		
		「自分からすすんで挨拶をしている」の項目で95%以上を目指す。	3.6	3.3		
		「壱岐商業高校に入学して良かったと思う」の項目で90%以上を目指す。	3.3	4.0		

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
生徒支援部 教育相談班	1 生徒の自己理解を促す取り組みを行う。 2 生徒の抱える問題の把握と情報共有、問題解決に努める体制づくりを行う。 3 特別支援教育についての理解を深め、様々な生徒に対応できる体制づくりを行う。 4 生徒、職員が人権意識を高める取り組みを行う。	関係職員と連携し、要観察生徒の情報交換を密にし、全教職員で共通理解をする。記録を引継ぎシートに残す。	3.2	2.9	3.5	〈成果〉 ・職員間の連携については、直接の連絡の他、教育相談班関連の委員会やケース会議などで実施できた。 ・心理検査は予定どおり実施。また、SC、SSWIによる1学年全生徒対象のスクリーニング面接と、情報共有を実施した。 ・教育相談委員会、特別支援教育推進委員会は各学期定例開催のほか、教育相談委員会については必要に応じて臨時で実施した。 ・教育相談関連の職員研修については、今年度は4回実施（SSW2回。伝達研修1回。教育相談主任1回） ・人権教育関連の職員研修は学期毎に1回、計3回実施。 ・「いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の評価については昨年度より向上した。 （3or4の評価R6=86%→R7=87.8%） 〈課題〉 ・生徒個々の情報や指導内容を、共有や引継ぎを目的とする記録として残す取り組み（引継ぎシート）について、周知や運用の推進が不十分で、検討や見直しの必要がある。 ・生徒に関する様々な特性や障害者手帳等の有無、家庭の事情やその他個人情報扱うことが年々増えている。職員が必要に応じて見ることができる利便性と、漏洩しないための管理を両立できる方法の検討が今後必要である。 ・生徒の相談窓口の一つとしての「生徒生活実態調査」の実施内容や回数の見直し。 ・1年生心理検査実施後の活用法の見直しや検討。
		年1回4月に心理検査等を実施し、生徒一人ひとりが抱えている内面的問題を把握し、学級担任のより一層の生徒理解を図る。	3.4	3.6		
		養護教諭と連携して、日々の学校全体の欠席状況や保健室利用状況を把握し、毎週1回分掌会で「気になる生徒」の情報交換を行い、学年・分掌間の連携と協力体制を作る。	3.6	3.6		
		教育相談委員会を学期に1回、年最低3回実施し、生徒状況の把握や保護者への対応の在り方、学年間での共通理解を図る。	3.6	3.6		
		事例研究や精神科医、教育相談員の講話等の職員研修を年1回は実施する。	3.4	4.0		
		学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。	3.2	3.3		
生徒支援部 保健環境班	1 定期健康診断を確実に実施し、健康課題の早期発見・早期対応を図る。 2 個別の保健指導の充実を図る。 3 安全点検を徹底し、危険個所の早期発見・早期対応を図る。 4 美化習慣を設定する。	美化習慣を設定し、日頃できていないところまで丁寧に無言で清掃する。	3.7	3.0	3.3	・美化週間の取り組みは、各クラスとも意識が高まり、良好であった。美化週間以外の日常においても、同じように継続できればよいと感じる。 ・学校評価において、「学校は、清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目において目標値を下回っていた。具体的に生徒たちがどの箇所が気になっているのか、保健環境班からアンケートを実施し、結果のフィードバックを行い、改善につなげていく必要がある。 ・定期健康診断後の受診率は、今年度は歯科46%、眼科50%であった。以前に比べると少しずつ上がってはきているが、定期健康診断の目的を生徒に理解させ、健康診断は受けたら終わりではなくその後の自己の健康管理に活かせるような指導を工夫しなければならない。 ・2学期末に、インフルエンザによる集団感染で学年閉鎖の措置をとった。引き続き、地域の感染状況の確認や日頃の健康観察を徹底し、早期対応を心掛ける。
		学校評価「学校は、清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目において3.5以上を目指す。	3.3	3.0		
		学校評価「ゴミを散らかさないようにしている」の項目において3.5以上を目指す。	4.0	3.7		
		歯科受診率（昨年度30%）、眼科受診率（昨年度52%）を昨年度よりも上げる。	2.3	3.0		
		感染症疾患による出席停止措置となる生徒数が全体の1割以下になるように努める。	3.3	2.7		
		保健指導を計画的に行い、学校行事での事故をなくす。	3.7	3.7		
		関係職員と連携し、気になる生徒の情報共有を図る。	3.7	3.7		

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
進路指導部	1 3年間を見通した進路指導の方策を練るとともに職業観・勤労観を育てる。また、キャリアパスポートの円滑な運営を進める。 2 進路ガイダンスなど、進路関係の諸行事や進路実績について、HPで情報発信する。 3 企業訪問により追跡調査・定着指導を行うとともに、求人確保につなげる。 4 スタディサプリを中心とした基礎学力向上に対する取組を策定する。 5 Handy進路指導室（求人票管理システム）の円滑な運用を進める。	3年生の進路決定率100%。	3.5	4.0	3.7	・3年生の進路決定率100%を達成。今後も卒業後の動向も注視し、ミスマッチなどの状況について把握していきたい。その状況に応じ、卒業後の生活を見据えた心構えや準備について指導計画を策定していく。 ・学校評価「学校は、生徒の進路実現に向けて、効果的な指導を行っている」「学校は、進路に関して情報を提供している」について、昨年度から0.1～0.2ポイント上昇し、両項目ともに3.6という結果。 ・学校評価「学校は、将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」の項目は昨年度から0.1ポイント上昇の3.4という結果。 ・進路指導や情報提供について、生徒・保護者にとって分かりやすい指導や伝達を今後検討していく。
		学校評価「学校は、生徒の進路実現に向けて、効果的な指導を行っている」「学校は、進路に関して情報を提供している」の両項目で3.5以上を目指す。	3.5	4.0		
		学校評価「学校は、将来の進路や職業について、適切な指導を行っている」の項目で3.5以上を目指す。	3.0	3.0		
生徒会指導部	1 生徒の主体性や自主性を高め、積極的に社会貢献しようとする行動力を育成する。 2 学校行事への積極的な参加と協力する態度を養う。 3 生徒会役員会の活性化を図る。 4 部活動の活性化を図ることで統制の取れた集団へと成長し、活力ある学校を目指す。 5 ボランティア活動の意義を理解し、実践する能力を養う。 6 平和を愛する心を育てるとともに、人権についての意識を高める。	各行事において主体的に取り組ませ、連帯感や達成感を高めて目標達成への自身につなげる。	3.7	3.9	3.7	・生徒会長を中心に学校行事を成功させようと積極的に取り組むことができた。Formsを活用したアンケートの集約、提案から運営まで主体的に行動していた。進捗状況や役割分担において、職員の指示が必要な場面があったことは今後の課題であるが、生徒会として連帯感・達成感は概ね全員が高められた。 ・生徒会長を中心とし、他の生徒会役員に伝えて自分たちで行動するという組織体制が確立されていた。新役員体制でも従来どおりの動きをさせていきたい。 ・行事の企画・運営や役員での話し合いにおいて、役員一人一人が自ら意見を出し協力して取り組む姿勢が見られた。主体性や協調性が高まった。 ・生徒総会の在り方を再考したい。3年間、校則について議論をさせたが、ルールや規則があっても守らない生徒は守らない。ルールを守っている生徒を中心にした指導が必要。また、県内外を問わず教育現場が荒れてきている現状を認識すべき。
		部活動加入を積極的に推進し、生徒同士が切磋琢磨することで体得できる集中力や忍耐力、責任感などを身に付けさせる。	2.9	2.6		
		まずは生徒会役員が率先して楽しむことができるようなアイデアを積極的に出し合い、「挑戦」の視点で企画立案を行う。	3.5	3.9		
		「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加している」の項目で80%以上を目指す。	3.2	3.9		
		「自分からすすんであいさつをしている」の項目で90%以上を目指す。	3.5	3.9		
		「壱岐商業高校に入学して良かったと思う」の項目で90%以上を目指す。	3.2	4.0		

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
第1学年	<p>1 体調管理に努めさせ、年間出席率を98%以上とする。</p> <p>2 期限を意識させ、学校評価「課題・提出物は期限までに提出している」の項目で3.5以上とする。</p> <p>3 学校評価「壱岐商業高校に入学して良かったと思う」の項目で3.5以上とする。</p>	年間出席率99%以上を目指す。	2.9	3.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生をはじめ学年の先生方の細やかな指導のお陰で入学当初の不安要素が良い方向に動き、大崩れせずに1年間を過ごせた。 ・比較的落ち着いて学校生活を送ることができた生徒が多かった。問題やトラブルがあった際に迅速に対応することができた。掃除への取り組みが非常によかった。 ・入学前は欠席が多かった生徒が高校では克服できた生徒がいることは大きな成果だと感じる。固定された人だけでなく、様々な人と関わり、コミュニケーションを図って欲しい。 ・基礎学力とは何かを定義づけ、その向上を図る取組を行う必要がある。その場しのぎで進める面があった。 ・進路意識を十分に醸成することができなかった。LHRやSHR、総探、個人面談などを通して、職業観や勤労観を身につけさせる必要がある。 ・提出物の提出が期限内にできない生徒がいたので、期日に全員が出せるような工夫が必要である。 ・挨拶はよくなってはいるが、自発的にできる生徒は少ないので、これからも継続して指導を続けていきたい。 ・特別指導を要する案件が見られた。また、日常の生徒間の言葉遣いにおいて配慮を要する場面もあり、対人関係や信頼関係など、良好な人間関係を構築するための声掛けの必要性を感じた。
		提出期限を守ることを徹底させる。	2.8	3.1		
		学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で3.5以上を目指す。	3.5	2.9		
		学校評価「課題・提出物は、期限までに提出している」の項目で3.5以上を目指す。	2.8	3.1		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で3.3以上を目指す。	3.3	3.1		
		学校評価「自分からすすんであいさつをしている」の項目で3.5以上を目指す。	3.6	3.3		
		学校評価「壱岐商業高校に入学して良かったと思う」の項目で3.4以上を目指す。	3.4	3.8		
第2学年	<p>1 家庭学習を習慣化する仕組みを構築し、学習時間0分を0人にする。</p> <p>2 定期的な面談・学年集会等を通して、生徒理解を深める。</p> <p>3 課題・提出物の期限内提出が徹底されるよう指導する。</p> <p>4 傾聴する態度、自分の意見を言語化し論理的に相手に伝える力を身につけさせる。</p>	挨拶、言葉遣い、容儀（頭髪・服装など）の指導徹底	3.2	2.7	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・中だるみの学年ということもあり、あいさつや提出物の指導は徹底できた。 ・昨年同様掃除への取り組み方に関しては個人差があり、全員が徹底できるような指導が難しかった。 ・容儀に関しては学校全体で校則も大きく変わる中、ルールとマナーの違いやそれを遵守することの重要性、学校の願いなど本質的な部分について考えさせることはできているように感じる。 ・考えて判断して行動するためには、知識や体験に伴う経験が必要であると思う。次年度も継続させてその能力をつけさせていきたい。そのために、視野・知識・行動の範囲を広がせることと、自分軸と他人軸の場面を適切に使い分けられるようにしたい。 ・提出物や言葉遣いは2学年内でも不十分は20%以内だと思うが、それは徹底してはいないと思うので、少しずつでも徹底に近づけたい。 ・進路に向け、容儀・速度・生活・心の改善（さらなる向上）を目指して行動していきたい。 ・3学期に入り、進路を見据えた行動を取れる生徒の割合が増えてきた。集会などでの話の聞き方も良く、さまざまな話を自分の行動に生かせるところまで、あと一步のところきいている。この一步を踏み出せるよう、背中を押す指導を今後も続けていきたい。
		保護者との連携を密にし、信頼関係を深める。	3.2	3.0		
		社会人としての礼法、マナー及びコミュニケーション能力を定着させる。	3.3	2.9		
		学校評価の全ての項目の平均で、「4」・「3」の合計評価が80%以上を目指す。	3.2	3.1		
		学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で「4」・「3」の合計評価が85%以上を目指す。	3.3	3.4		
		学校評価「課題・提出物は、期限までに提出している」の項目で「4」・「3」の合計評価が80%以上を目指す。	2.7	3.1		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で「4」・「3」の合計評価が90%以上を目指す。	3.3	2.6		
		学校評価「自分からすすんであいさつをしている」の項目で「4」・「3」の合計評価が90%以上を目指す。	3.5	3.3		
学校評価「壱岐商業高校に入学して良かったと思う」の項目で「4」・「3」の合計評価が85%以上を目指す。	3.2	3.4				

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
第3学年	1 学習指導に関する目標 (1) 成績上位者の育成 (2) 主体的に学習に取り組む態度の育成 (3) 資格取得の奨励 2 進路指導に関する目標 (1) 個人面談や面接指導、進路講話等による進路指導の充実 (2) 個々の生徒の希望と適性に合った進路指導 3 生徒指導に関する目標 (1) 礼儀、マナー、挨拶、言葉遣い、時間厳守、身だしなみ等の指導 (2) 健康面の自己管理、生活リズムを整える指導 (3) 教室整備と掃除を徹底し美化意識を高める指導 (4) 「いじめ」をしない・させない雰囲気をつくる (5) 問題行動の早期発見と早期対応 4 その他 (1) 保護者との信頼関係を深め、あらゆる場面で連携を図る (2) 学校行事で、クラス・学年団の団結力を深め、帰属意識を高める (3) 最新の情報を提供し、社会でたくましく生きていく力を身につけさせる	年間出席率99%以上を目指す。また、全員卒業を達成する。	3.1	3.4	3.6	・学年全体の出席率は高く、考査時に別室受験を希望する生徒もいなかったが、特定の生徒に欠席が多く見られた。面談や家庭訪問を行い改善を試みたが、十分な成果には至らなかった。 ・大きな問題行動はなかった。生徒同士の距離感も徐々に掴めるようになり、個々の悩みについても自分たちで解決できるようになってきた。 ・夏休みから一致団結して進路実現に向かい、「進路決定100%」という結果を出すことができた。しかし認識が甘く、なかなか行動に移せない生徒への対応には苦勞した。 ・学校行事では一致団結して盛り上がりを見せたが、学年を牽引するリーダーを育てることができなかった。 ・各大学で多様な入試方式が実施されているが、その知識が生徒・教員ともに不足していた。 ・「壱岐商業高校に入学して良かったと思う」と思ってくれたことが最大の成果である。
		問題行動「ゼロ」を目指す。	3.1	3.8		
		進路決定100%を目指す。	3.6	4.0		
		生徒学校評価の全ての項目の平均で、「4」・「3」の合計評価が80%以上を目指す。	3.5	3.5		
		生徒学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で「4」・「3」の合計評価が85%以上を目指す。	3.8	3.8		
		生徒学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で「4」・「3」の合計評価が90%以上を目指す。	3.4	3.0		
		学校評価「自分からすすんであいさつをしている」の項目で「4」・「3」の合計評価が90%以上を目指す。	3.4	3.6		
学校評価「壱岐商業高校に入学して良かったと思う」の項目で「4」・「3」の合計評価が90%以上を目指す。	3.6	3.9				
商業科	<商業科> 1 情報処理・簿記・ビジネス文書の3級は、1年次までに全員の取得を目指す。 2 2級以上は、補充・課題研究で対応する。 3 株式会社の活動を通して、ビジネスマナーや起業するための方法を実践し習得させる。 <情報処理科> 1 情報処理・簿記・ビジネス文書の3級は、1年次に全員取得を目指し、情報処理2級を2年次前期までに取得を目指す。 2 自ら考えて、授業で取り組むプログラムの修正などができる生徒を育成する。 3 専門の講師を招聘して、最新の情報を学び、自己の将来に繋げる。	教育課程の見直し。（生徒の実態に即した課程の検討）	2.5	2.9	2.2	・来年度に向けて、株式会社での活動に即した教育課程への見直しは成果としてあげられる。 ・検定補習の見直しが必要。 ・1学期から計画的に学習内容を積み上げ、理解と定着を図る必要がある。 ・今回検定3級未習得の3年生が補習指導を受け合格を果たした。商業科として3級不合格者へのアフターフォローを行っていく必要がある。 ・販売実習などの活動も、生徒が最初から最後まで自分たちで行えるような仕組み作りが必要。 ・株式会社の活動を通して、生徒の学びを実感した場面は少ないように感じる。 ・自ら考えて行動することに関しては、株式会社を通して積極的にイベント参加や販売実習をしている生徒と、何もしない生徒で極端に分かれている。どのようなモチベーションで臨むかが大事な為、そのモチベーションを上げる仕掛けや仕組みが必要。
		簿記検定試験合格者数アップへ向けた取組を行う。	2.7	2.6		
		情報処理検定試験合格者数アップへ向けた取組を行う。	2.9	2.9		
		全商3種以上1級合格者数0名（昨年度7名）	2.7	1.0		
		ビジネスマイスター長崎認定者数4名（昨年度21名）	2.6	1.2		
		生徒学校評価「私は、地域の課題について自ら考え、その解決に向けて行動した」の項目平均で、3.0以上を目指す。	3.0	2.8		